

2025年8月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年4月14日

上場会社名 株式会社ジールアソシエイツ

上場取引所 東

コード番号 329A

URL <https://zeal-as.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 永門 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 澁谷 良雄 (TEL) 03-6264-2690

中間発行者情報提出予定日 2025年5月30日 配当支払開始予定日 —

中間期決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期中間期の業績(2024年9月1日~2025年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	1,249	—	21	—	18	—	15	—
2024年8月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	51.54	—
2024年8月期中間期	—	—

(注) 1 2024年8月期中間期については、中間財務諸表を作成していないため、2024年8月期中間期の数値及び2025年8月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。

2 当社は、2024年12月5日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。2025年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり中間純利益を算定しております。

3 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	1,409	261	18.6
2024年8月期	1,738	266	15.3

(参考) 自己資本 2025年8月期中間期 261百万円 2024年8月期 266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年8月期	0	.00	50	.00	50	.00
2025年8月期	0	.00				
2025年8月期(予想)			—		—	

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2 当社は、2024年12月5日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。2024年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当の金額を算定しております。

3 2025年8月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,150	20.3	92	113.5	84	23.5	55	22.7	188.10

（注）1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、2024年12月5日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。
2025年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 中間財務諸表及び主な注記（4）中間財務諸表に関する注記事項（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期 中間期	292,800株	2024年8月期	292,800株
② 期末自己株式数	2025年8月期 中間期	－株	2024年8月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年8月期 中間期	292,800株	2024年8月期 中間期	292,800株

（注）当社は、2024年12月5日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。
2024年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を記載しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における当社が事業を展開するディスプレイ業界では、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に緩やかな回復基調が継続しました。一方で、欧米における高い金利水準の継続や、原材料及びエネルギー価格の高騰に伴う物価上昇、中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響等、海外景気の下触れリスクが国内経済に与える影響は依然不透明な状況にあります。これらが企業の投資意欲に及ぼす影響について、引き続き注視していく必要があります。このような状況の中、当社は中期経営計画(2025年8月期～2027年8月期)に基づき、更なる企業価値の向上を目標に事業活動を展開してまいりました。

リアルイベント分野の売上高は1,057,706千円となりました。経済活動の正常化や企業のマーケティング活動の再活性化を背景にイベント展示会業界全体が回復基調にあり、当社においても主要イベントへの出展支援や運営受託が堅調に推移しました。

商環境分野の売上高は130,485千円となりました。

企業のブランド価値向上に向けたショールームや店舗空間への投資が活性化しており、当社の空間デザイン・施工サービスへの需要が高まりました。この結果、商環境分野の売上も堅調に推移しております。

デジタル×AI・その他分野の売上高は、61,792千円となりました。

企業によるプロモーション活動の強化やデジタルマーケティング需要の高まりを背景に、受注案件が増加傾向にあります。とりわけ、体験型の映像コンテンツや製品・サービスの紹介映像のニーズが堅調であり、当社のクリエイティブ力を活かした受注活動が奏功いたしました。なお、デジタル・その他分野は、より事業内容を明確にするため、デジタル×AI・その他分野に名称を変更いたしました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は1,249,983千円、営業利益は21,530千円、経常利益は18,121千円、中間純利益は15,090千円となりました。

なお、当社はエクスペリエンスデザイン事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ313,736千円減少し、1,270,927千円となりました。この主な変動要因は、現金及び預金の減少249,217千円、受取手形及び売掛金の減少85,114千円によるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ15,758千円減少し、138,351千円となりました。この主な変動要因は、投資その他の資産における投資有価証券が投資有価証券を売却したことにより10,381千円減少したこと、無形固定資産におけるソフトウェアが3,369千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,409,279千円となり、前事業年度末に比べ329,494千円減少しました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ252,947千円減少し、523,765千円となりました。この主な変動要因は、買掛金の減少138,787千円、未払法人税等の減少21,783千円、未払消費税等の減少22,422千円によるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ71,738千円減少し、623,799千円となりました。この変動要因は、長期借入金の減少66,738千円、社債の減少5,000千円によるものであります。

この結果、負債合計は1,147,565千円となり、前事業年度末に比べ324,685千円減少しました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ4,808千円減少し、261,714千円となりました。この主な変動要因は、中間純利益の計上及び配当の支払による利益剰余金の増加450千円、その他有価証券評価差額金の減少5,259千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の中間期末残高は803,369千円と前事業年度末と比べ249,217千円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は146,141千円となりました。これは主に、税引前中間純利益の計上24,397千円、売上債権の減少額85,114千円、仕入債務の減少額138,787千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は6,951千円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入8,530千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は110,028千円となりました。これは、社債の償還による支出15,000千円、長期借入金の返済による支出80,388千円、配当金の支払額14,640千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の通期業績予想につきましては、前回発表予想を修正しておりません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当中間会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,052,586	803,369
受取手形及び売掛金	487,648	402,533
仕掛品	22,081	34,705
原材料	1,505	1,875
前払費用	20,120	26,305
その他	720	2,137
流動資産合計	1,584,664	1,270,927
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	37,495	33,689
機械及び装置(純額)	3,709	3,399
器具及び備品(純額)	10,559	9,566
土地	309	309
有形固定資産合計	52,074	46,965
無形固定資産		
ソフトウェア	12,213	8,843
無形固定資産合計	12,213	8,843
投資その他の資産		
投資有価証券	11,095	713
出資金	370	370
長期前払費用	7,805	6,773
繰延税金資産	5,830	8,628
貸倒引当金	△200	△200
その他	64,920	66,257
投資その他の資産合計	89,822	82,541
固定資産合計	154,109	138,351
資産合計	1,738,774	1,409,279

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当中間会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	400,249	261,462
1年内返済予定の社債	30,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	149,607	135,957
未払金	65,195	71,091
未払費用	9,827	5,643
未払法人税等	31,034	9,250
未払消費税等	34,939	12,517
預り金	9,609	7,843
賞与引当金	26,250	—
役員賞与引当金	20,000	—
流動負債合計	776,713	523,765
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	661,496	594,758
資産除去債務	24,041	24,041
固定負債合計	695,537	623,799
負債合計	1,472,251	1,147,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,188	35,188
利益剰余金		
利益準備金	2,049	3,513
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	224,220	223,206
利益剰余金合計	226,269	226,720
株主資本合計	261,457	261,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,065	△194
評価・換算差額等合計	5,065	△194
純資産合計	266,523	261,714
負債純資産合計	1,738,774	1,409,279

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	1,249,983
売上原価	863,280
売上総利益	386,703
販売費及び一般管理費	365,173
営業利益	21,530
営業外収益	
受取利息	364
受取配当金	3
補助金収入	364
キャッシュバック収入	239
その他	160
営業外収益合計	1,132
営業外費用	
支払利息	4,356
その他	184
営業外費用合計	4,541
経常利益	18,121
特別利益	
投資有価証券売却益	6,275
特別利益合計	6,275
税引前中間純利益	24,397
法人税等合計	9,307
中間純利益	15,090

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	24,397
減価償却費	9,751
投資有価証券売却益	△6,275
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,250
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000
受取利息及び受取配当金	△368
支払利息	4,356
売上債権の増減額(△は増加)	85,114
棚卸資産の増減額(△は増加)	△12,994
仕入債務の増減額(△は減少)	△138,787
未払金の増減額(△は減少)	5,895
その他	△35,902
小計	△111,063
利息及び配当金の受取額	368
利息の支払額	△4,356
法人税等の支払額	△31,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	△146,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△213
投資有価証券の売却による収入	8,530
保険積立金の積立による支出	△164
長期性預金の取得による支出	△1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,951
財務活動によるキャッシュ・フロー	
社債の償還による支出	△15,000
長期借入金の返済による支出	△80,388
配当金の支払額	△14,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,028
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△249,217
現金及び現金同等物の期首残高	1,052,586
現金及び現金同等物の中間期末残高	803,369

(4) 中間財務諸表に関する注記事項
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)
(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)
当社は単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。